

第4回 公共交通を考えるワークショップ

アンケート調査結果（速報版）

【東秋川橋西側区域】

東秋川橋西側区域においては、平成30年12月20日～平成31年1月7日の期間において、性別、年齢を考慮して無作為抽出した333世帯を対象にアンケート調査を実施しました。このアンケート調査結果（速報版）では、平成31年1月16日までに回収した調査票を対象に集計した結果をお示ししています。

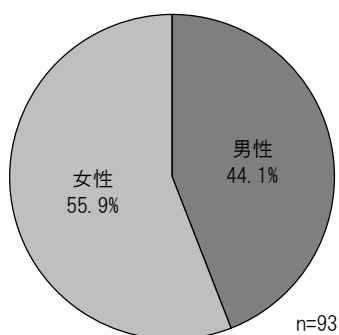
自由意見を含めた最終的な結果については、今後市ホームページにて公表する予定です。

配布数：333 回収数：93 回収率：27.9%（1月16日現在）

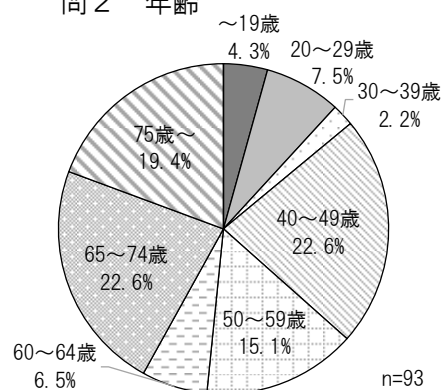
※ 端数処理により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

回答者属性

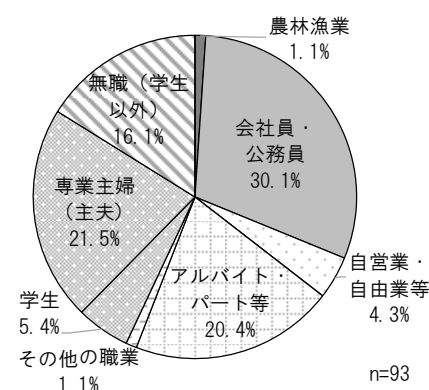
問1 性別



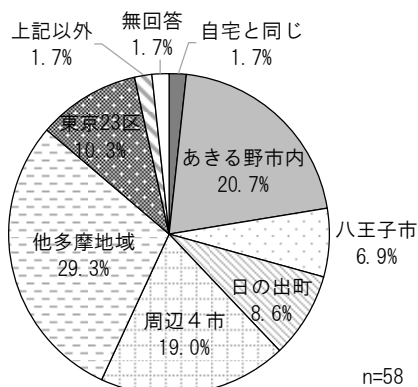
問2 年齢



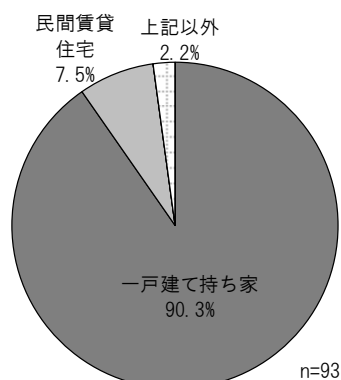
問3 職業



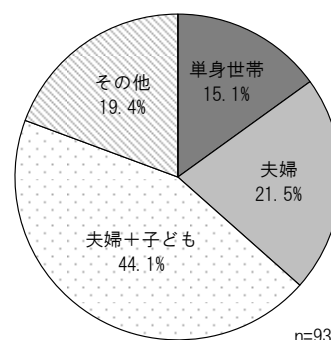
問3-1 通勤・通学場所



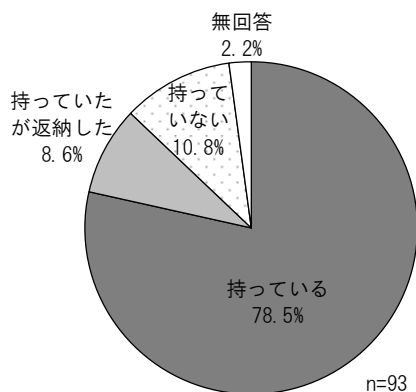
問4 住宅の種類



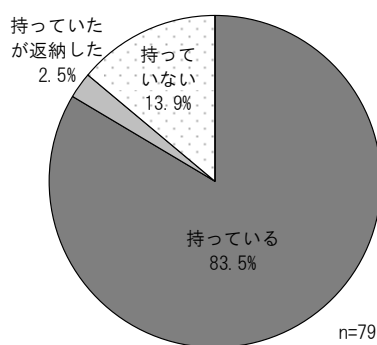
問5 世帯構成



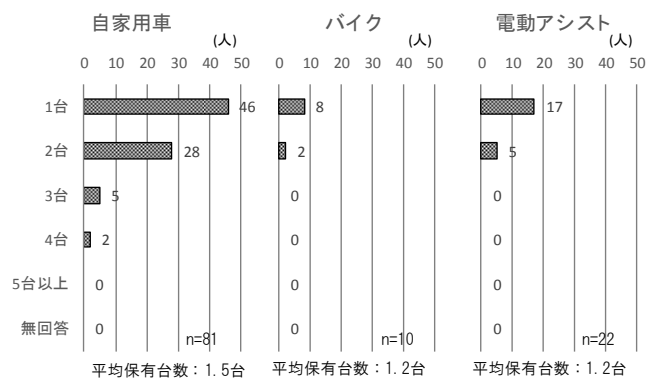
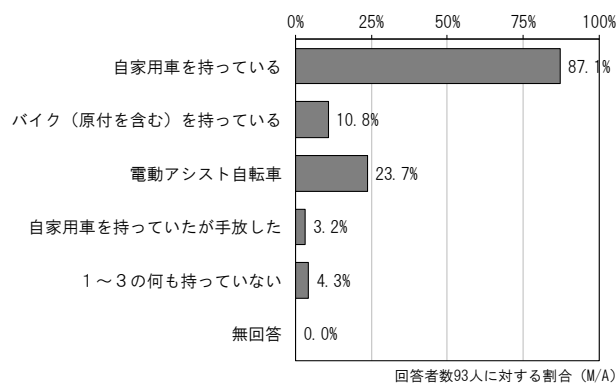
問6 回答者ご本人の運転免許保有有無



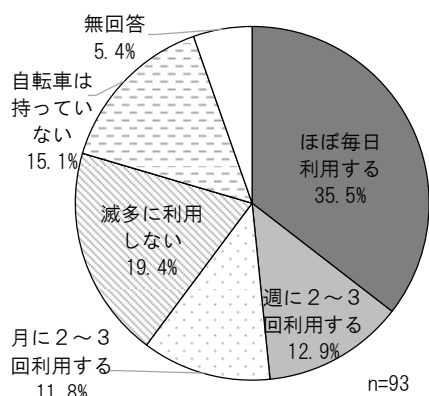
問7 同居されているご家族の運転免許保有有無



問8 自家用車等保有状況



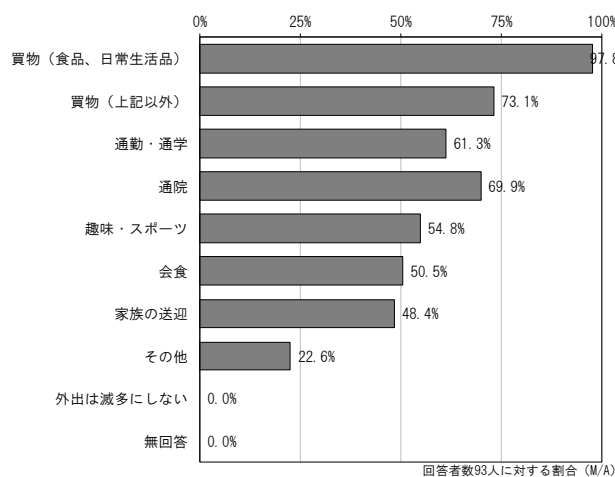
問9 自転車の利用状況



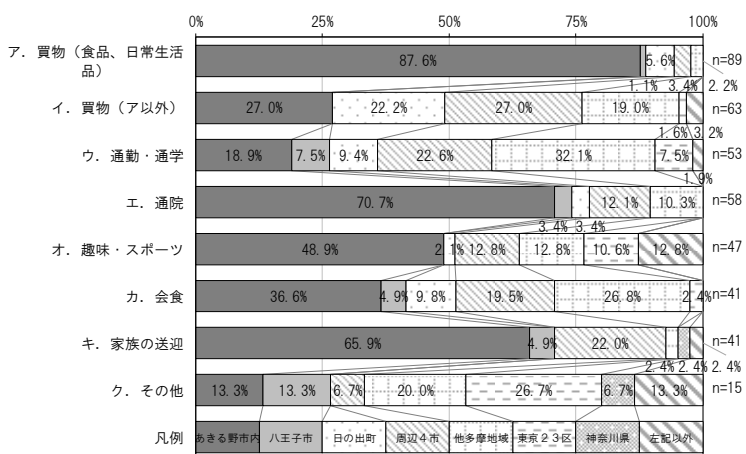
日常の外出について

- ・外出目的では「買物（食品、日用品）」が 97.8%で最も多く、次いで「買物（上記以外）」73.1%、「通院」69.9%が多い。
- ・外出の目的地では、「買物（食品、日用品）」の場合はあきる野市内が87.6%を占めるが、「買物（上記以外）」や「通院」の場合は周辺4市の占める割合が最も高い。また、「通勤・通学」ではその他多摩地域が33.1%で最も多い。
- ・いずれの外出目的においても、主たる交通手段は「自家用車（自分で運転）」である。
- ・「買物（食品、日用品）」については、7割以上の人が週2～3日かそれ以上の頻度で外出している。

問10 普段外出する目的

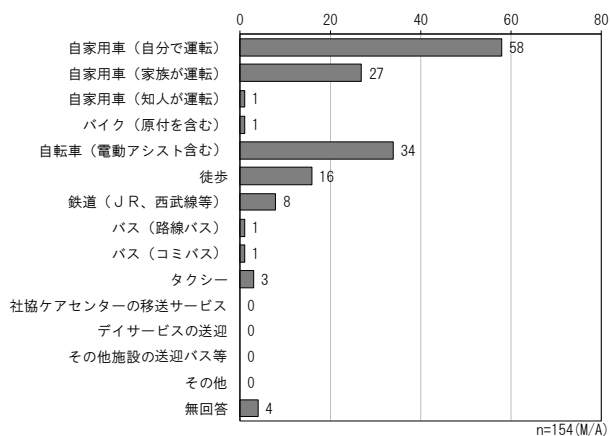


問10-1A 外出の目的地

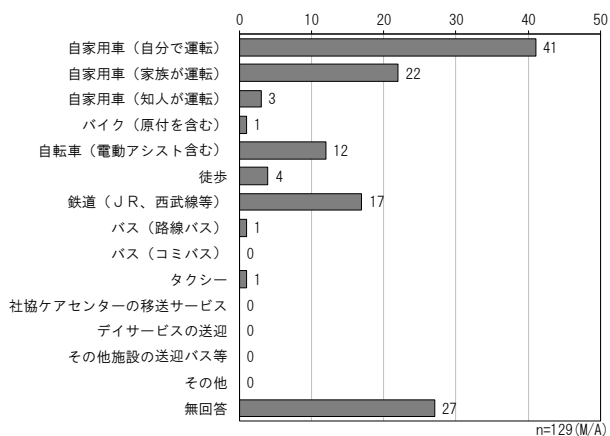


問 10-B 外出時の利用交通手段

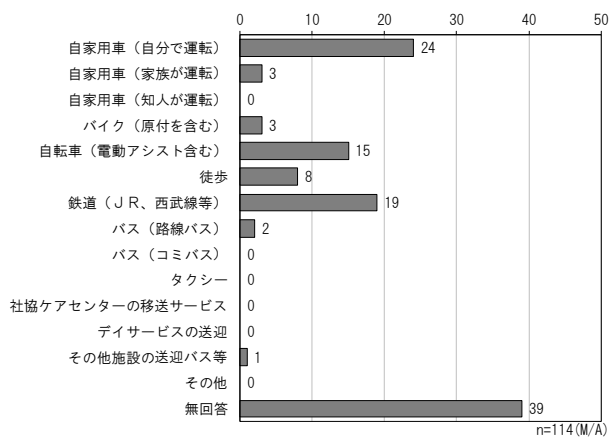
ア. 買物（食品、日常生活品）



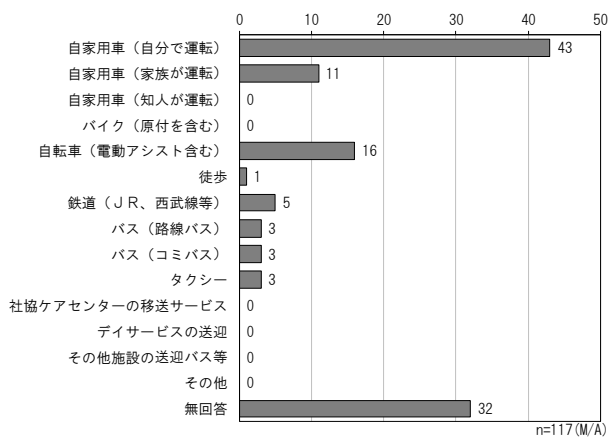
イ. 買物（ア以外）



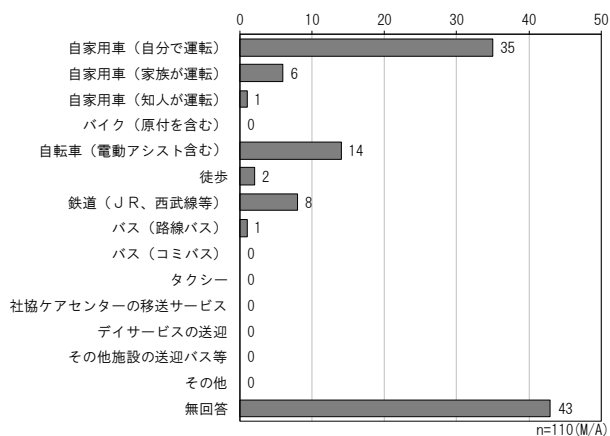
ウ. 通勤・通学



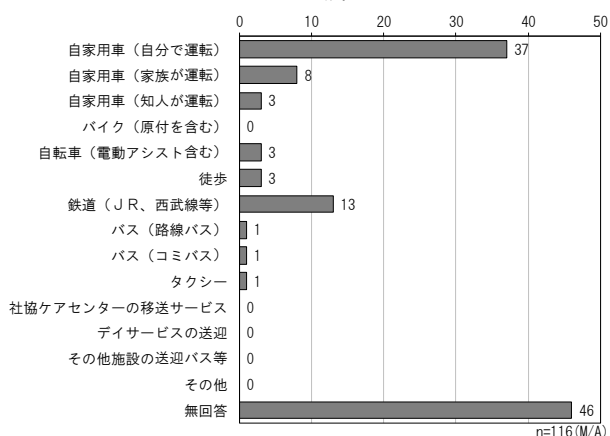
エ. 通院



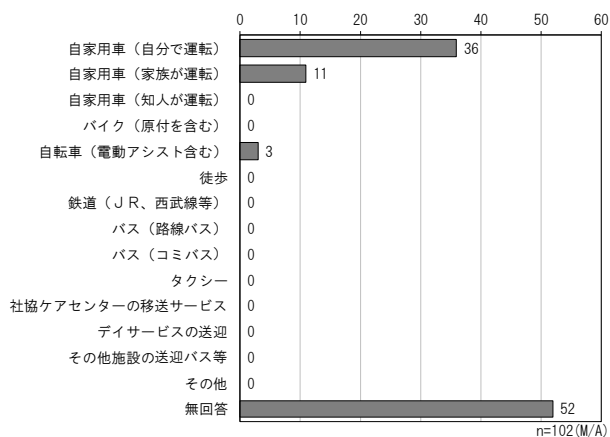
オ. 趣味・スポーツ



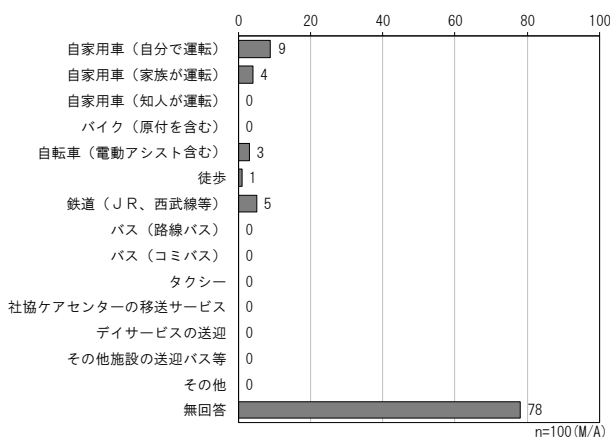
カ. 会食



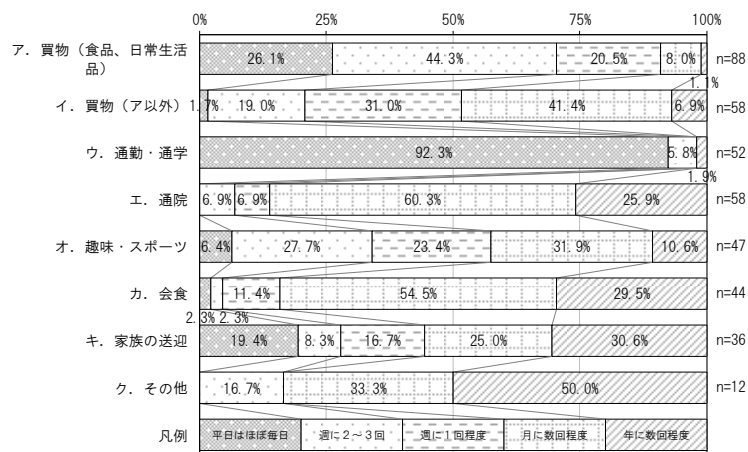
キ. 家族の送迎



ク. その他



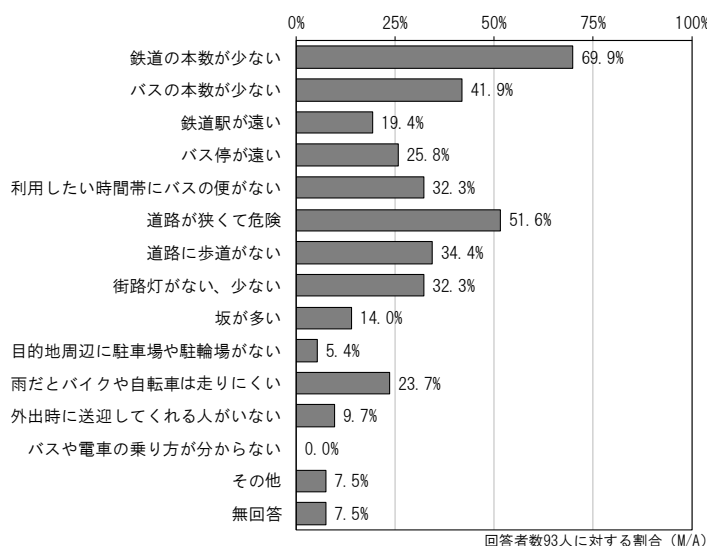
問 10-C 外出頻度



普段交通でお困りのことについて

問 11 交通に関して困っていること

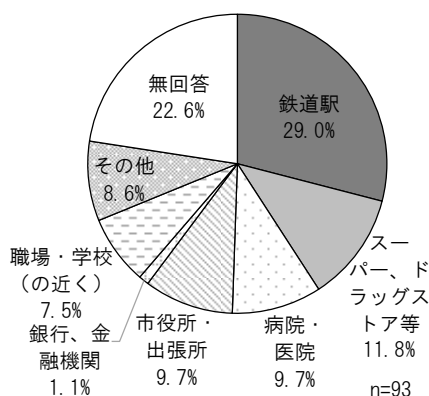
- ・「鉄道の本数が少ない」が 69.9% で最も指摘率が高く、次いで「道路が狭くて危険」51.6%、「バスの本数が少ない」41.9% の順となっている。
- ・これら上位3つは第1回ワークショップのグループワークにおいても同様の指摘を受けている。



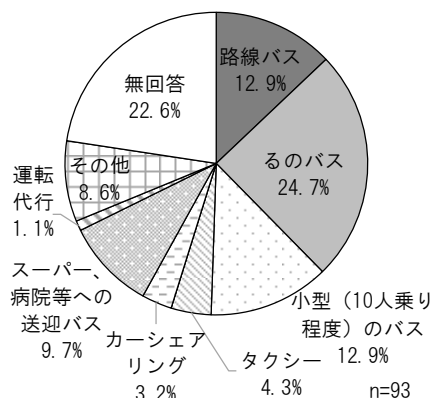
公共交通に対するご期待・ご要望

- ・公共交通で行きたいところは「鉄道駅」が 29.0% で半数を超え、交通としては「るのバス」が 24.7% で最多となっている。

問 12 公共交通で行きたいところ

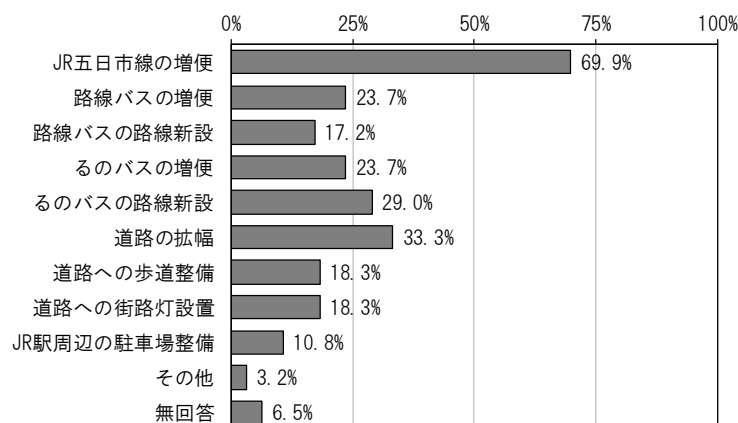


問 13 問 12 の目的地へ行く交通



問 14 求められる交通整備

・「JR 五日市線の増便」が 69.9%で、他に比べて圧倒的に指摘率が高く、以下「道路の拡幅」33.3%、「るのバスの路線新設」29.0%の3つが指摘率 25%を超えている。



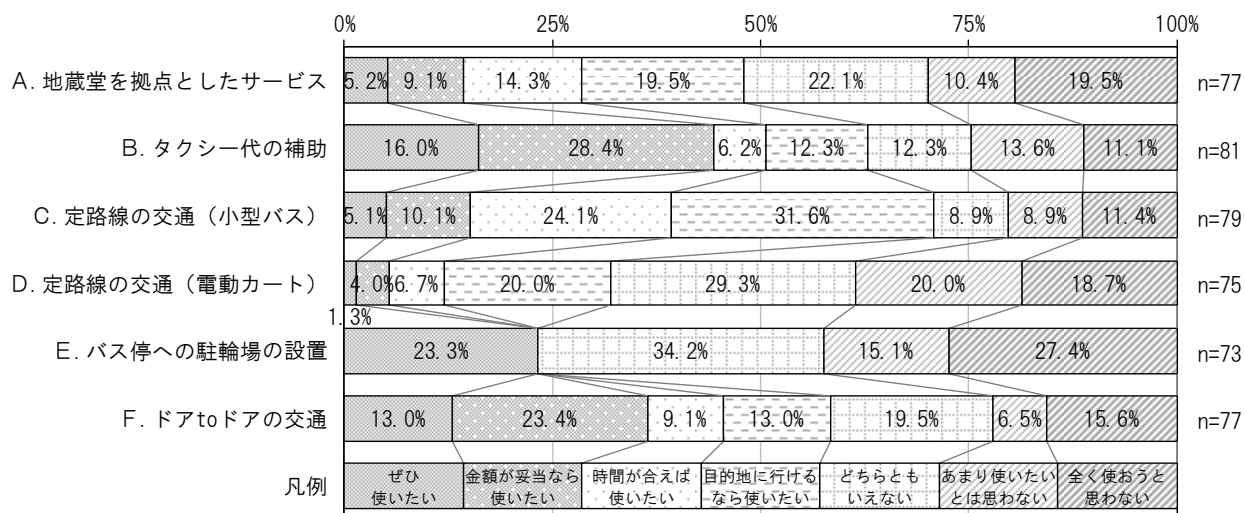
回答者数93人に対する割合 (M/A)

ワークショップで出た公共交通の方向性に対するご意見

問 15 各公共交通サービス候補に対する利用意向

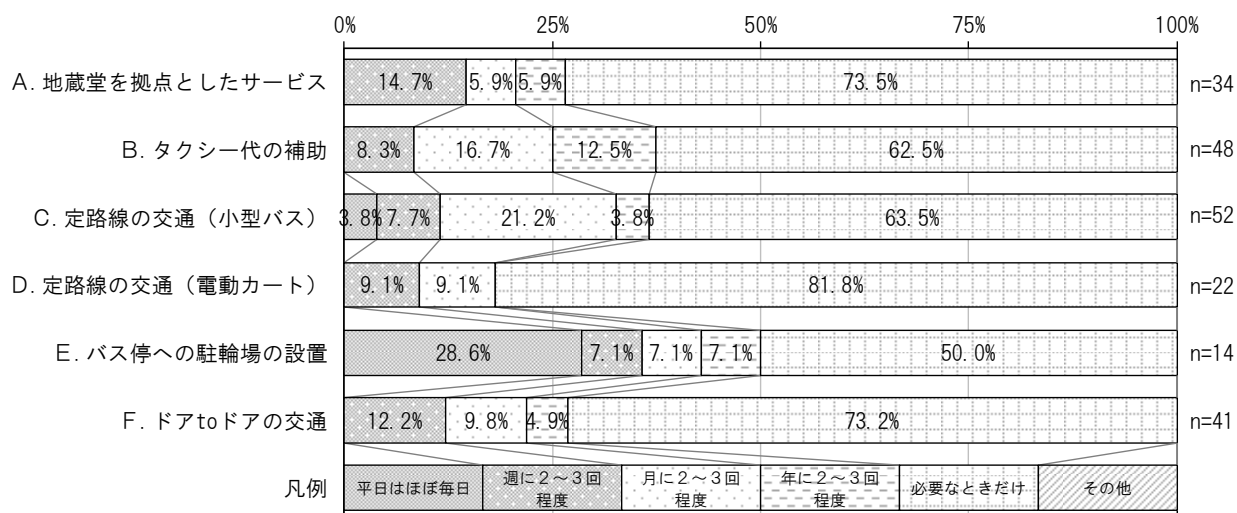
・「ぜひ使いたい」「金額が妥当なら使いたい」「時間が合えば使いたい」「目的地に行けるなら使いたい」を合わせて、「使いたい」とする割合が50%を超えたのは、「C. 定路線の交通(小型バス)」70.9%、「B. タクシー代の補助」63.0%、「F. ドア to ドアの交通」58.4%の3つである。

・一方、「ぜひ使いたい」とする割合が一番高いのは、「E. バス停への駐輪場の設置」の 23.3%であり、「B. タクシー代の補助」16.0%、「F. ドア to ドアの交通」13.0%を上回っている。



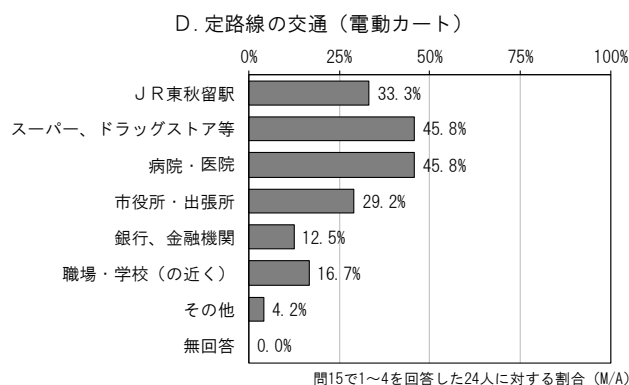
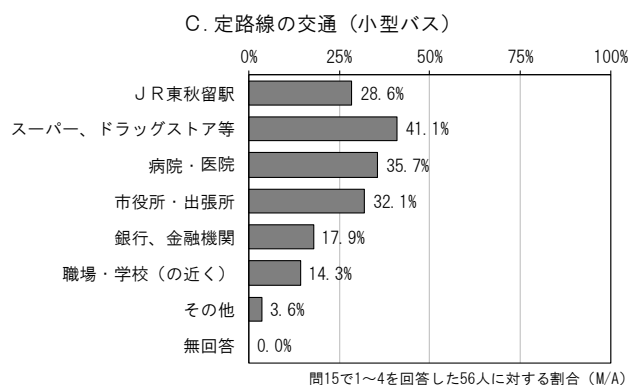
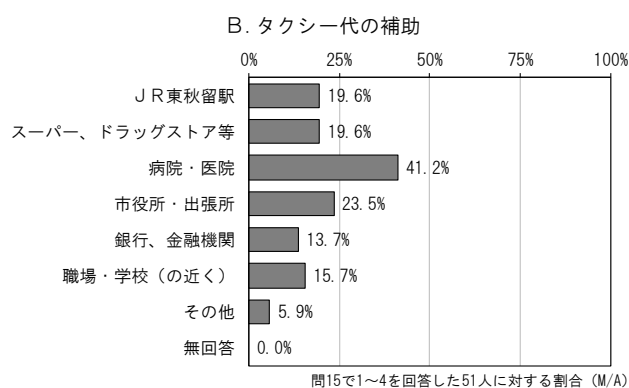
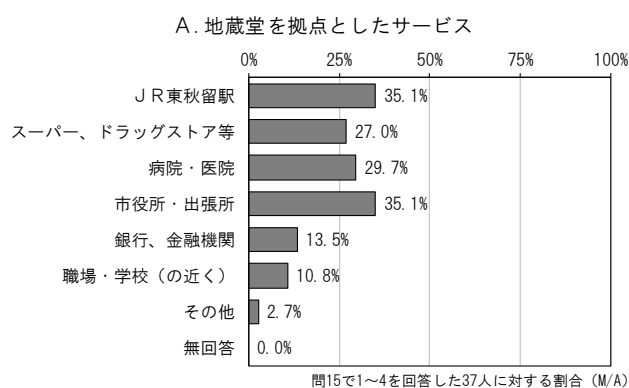
問 15-1 各公共交通サービス候補に対する利用頻度

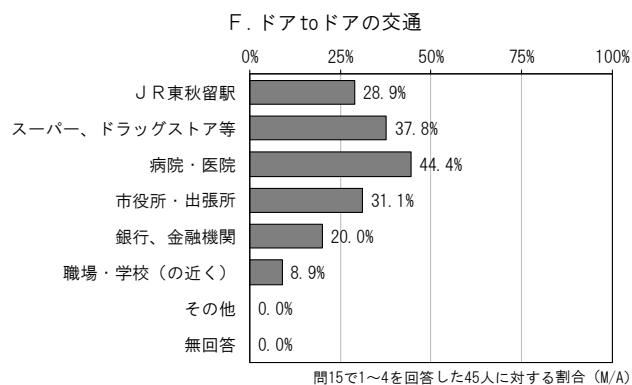
・公共交通サービス候補の利用頻度について「週2～3回」以上利用したい人の割合が20%以上みられるのは、「E. バス停への駐輪場の設置」35.7%のみであり、全体的な利用意向が高い「F. ドア to ドアの交通」では12.2%、「C. 定路線の交通（小型バス）」11.5%と、いずれも1割強である。



問 15-2 各公共交通サービス候補を使って行きたいところ

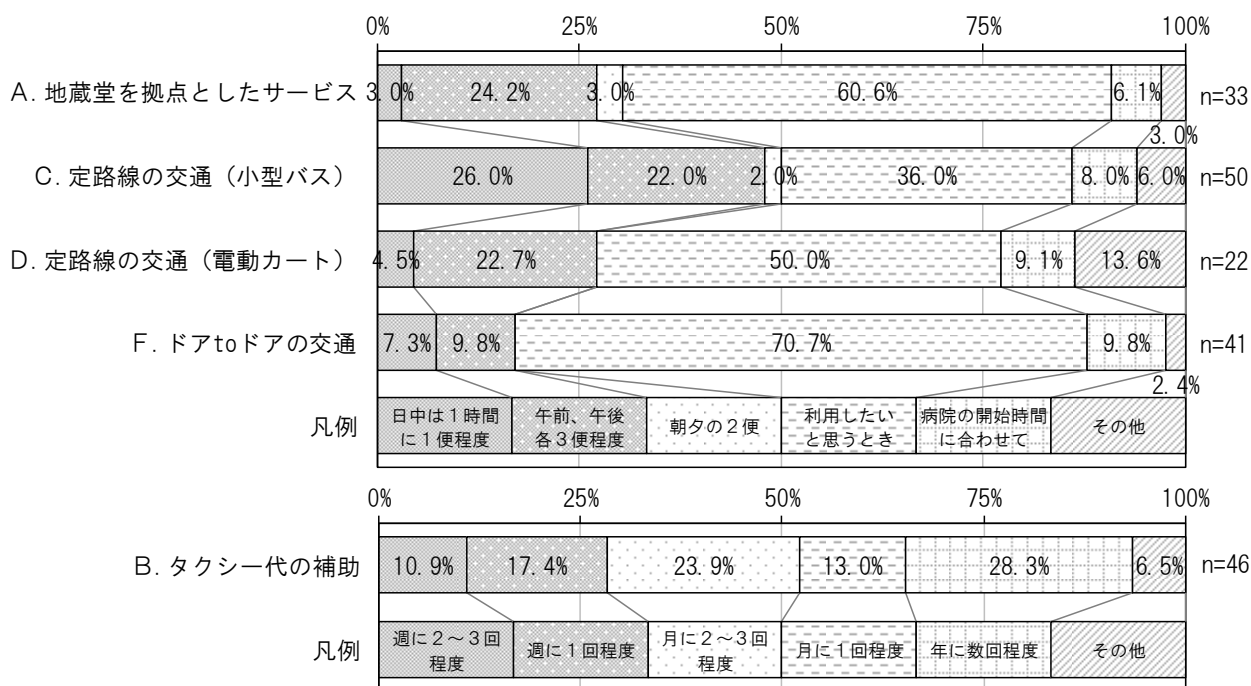
・公共交通サービス候補によって行きたいところの傾向は異なり、「B. タクシー代の補助」「F. ドア to ドアの交通」では「病院・医院」が最多、「D. 定路線の交通（電動カート）」では「病院・医院」と「スーパー、ドラッグストア等」とが同率で最多、「C. 定路線の交通（小型バス）」では「スーパー、ドラッグストア等」が最多、「A. 地蔵堂を拠点としたサービス」では「JR 東秋留駅」と「市役所・出張所」とが同率で最多となっている。





問 15-3 各公共交通サービス候補に求める運行頻度

- ・「C. 定路線の交通（小型バス）」に対して比較的高い運行頻度を求める傾向が強く、「日中は1時間に1便程度」を求める意見が26.0%、「午前、午後各3便程度」が22.0%となっている。
- ・それ以外のサービスは、いずれも「利用したいと思うとき」が半数以上となっている。
- ・「C. タクシー代の補助」については他と選択肢が異なるため比較はできないが、「年に数回程度」が28.3%で最も多い。



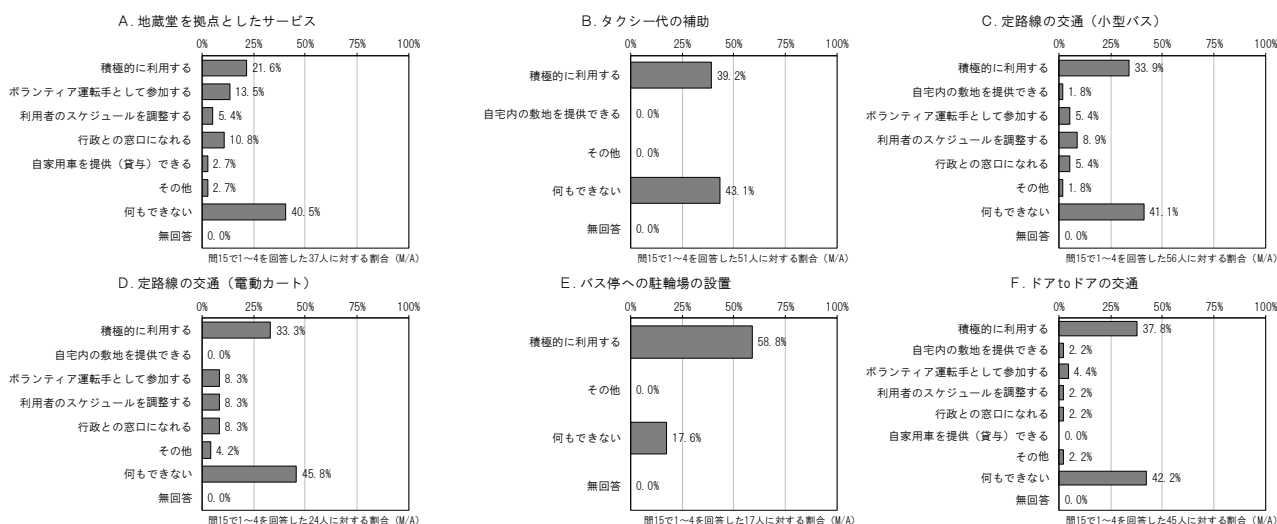
問 15-4 各公共交通サービス候補の料金設定

- ・各公共交通サービス候補の料金設定について平均を算出すると、「A. 地蔵堂を拠点としたサービス」268 円、「B. タクシー代の補助」773 円、「C. 定路線の交通（小型バス）」231 円、「D. 定路線の交通（電動カート）」308 円、「F. ドア to ドアの交通」439 円となった。

公共交通サービスの候補	ぜひ使いたい	条件付き			全希望者
		金額が妥当	に使用したい時間	ろにきたいところ	
A. 地蔵堂を拠点としたサービス	167	160	311	309	268
B. タクシー代の補助	1,033	793	560	575	773
C. 定路線の交通（小型バス）	125	460	240	191	231
D. 定路線の交通（電動カート）	200	550	363	255	308
E. バス停への駐輪場の設置	—	—	—	—	—
F. ドア to ドアの交通	388	450	350	567	439

問 15-5 各公共交通サービス候補に対する支援

- ・「積極的に利用する」という人は「A. 地蔵堂を拠点としたサービス」を除きいずれも 30%以上で、とくに「E. バス停への駐輪場の設置」は 58.8%と他のサービス候補に比べても高い。
- ・「A. 地蔵堂を拠点としたサービス」については、「ボランティア運転手として参加する」「利用者のスケジュールを調整する」「行政との窓口になれる」といった、運営側の支援に加われるという人がいずれも複数人見られ、かつ他のサービス候補に比べてもそれらの割合が高い。



問 15-6 各公共交通サービス候補を利用しない理由

- ・いずれも「自家用車で十分だから」の割合が最も高く、「D. 定路線の交通 (電動カート)」以外では過半数を占めている。
- ・「D. 定路線の交通 (電動カート)」については「時間がかかりそうだから」が 22.7%、「E. バス停への駐輪場の設置」については「安全面が心配だから」が 27.3%といった意見が目立っている。

